

透明性が高く効率的な経営



<https://www.mcd-holdings.co.jp/ir/governance/>

マクドナルドは、株主をはじめ、顧客、従業員、フランチャイジー、サプライヤーなどのすべてのステークホルダーの利益の最大化に努めると共に、経営の透明性・効率性を高め、マクドナルドグループの持続的な企業価値の向上を実現することが重要であると考えます。

このため、経営の意思決定・監督機能と業務の執行機能を分離し、適時的確かつ効率的な経営・執行体制の確立を図り、社外取締役の参加による透明性の高い経営の実現に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスコード（CGC）

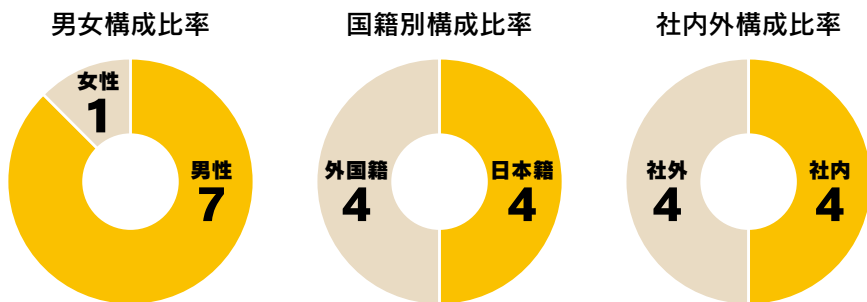
日本マクドナルドホールディングス株式会社は、東証スタンダード市場に上場しており、同市場に求められるCGCはすべて遵守しています。

取締役会と監査役会

日本マクドナルドホールディングス株式会社の取締役会は、独立社外取締役3人を含む8人で構成されています。監査役会は独立社外監査役2人を含む4人で構成されています。

取締役のダイバーシティ

※日本マクドナルドホールディングス株式会社 2022年12月末現在

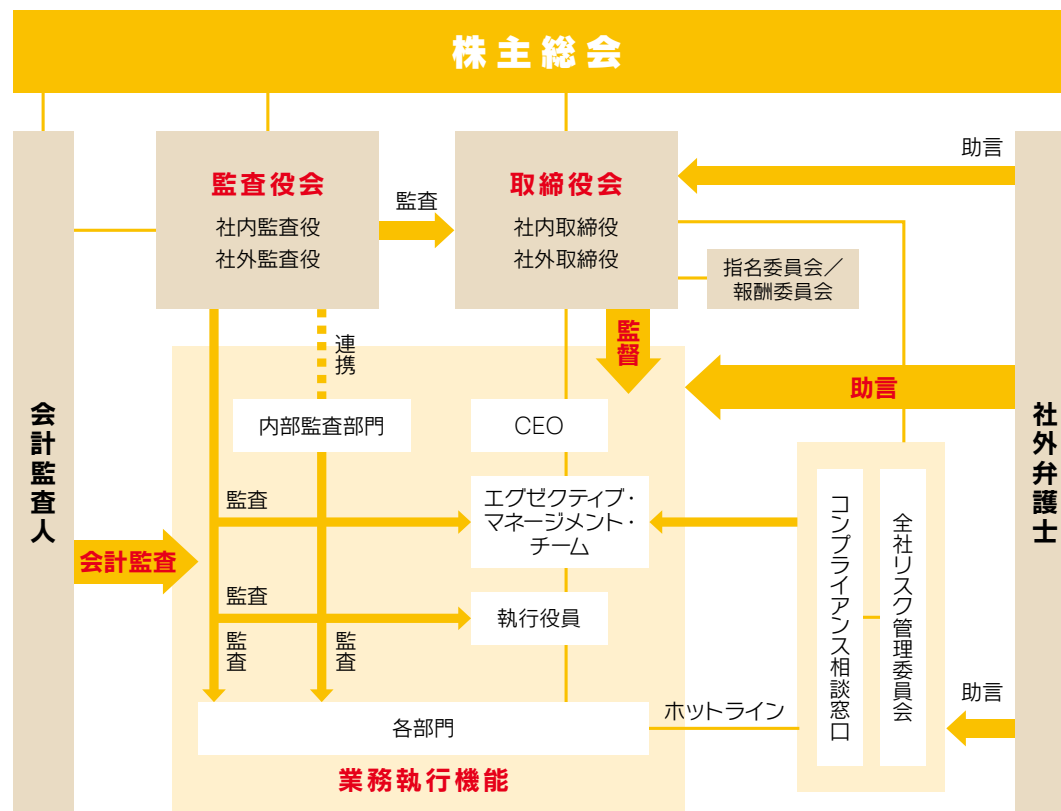


サステナビリティ推進体制

サステナビリティ戦略の策定と実行を担い、ネットゼロ計画やプラスチック削減およびリサイクルの取り組み、コミュニティリレーションなどの分野で、より広範囲に影響をおよぼす全社的な取り組みを推進するために、2022年2月に専門部署である「サステナビリティ&ESG部」を設置しました。

「サステナビリティ&ESG部」は定期的にサステナビリティ推進に関して取締役会に報告を行っています。

マクドナルドグループのコーポレートガバナンス体制図



※エグゼクティブ・マネージメント・チーム：CEOおよびCEOが選任したメンバーで構成するチーム。執行役員から適宜報告を受け、執行役員と連携することで業務遂行の円滑化と意思決定の迅速化を図っています。